

Kingfisher News

梅雨前線が本州付近を南北に移動する度に各地で災害級の大雨が降り続けています。またこれまで2つの台風が日本に接近しましたが、幸いにも本州に上陸することなく、通過していきました。今年の台風はどの位発生し、どんなコースを通るのでしょうか。心配ですね。

今回も前回に引き続き、法人を設立した際に作製したパネルのデータ更新についてお伝えします。

トピック

パネルのデータを更新しました（2）

今回は、「日本の現状」についてです。

日本政府は、2030年で2013年の温室効果ガス排出量の46%減少の目標を掲げています。コロナ禍の2020年には、世界が前年に比べて6.4%の減少となるなか、日本は3.7%の減少でした。ちなみにアメリカは8.8%の減少でした。

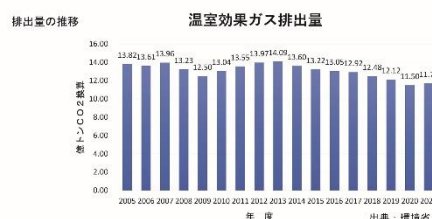
また2021年は、国際エネルギー機関（IEA）の発表によると、2020年に大きく落ち込んだ世界の二酸化炭素排出量が2021年に大きくリバウンドしていると報じています。日本は、前年比約1%程度の増加となりました。このままでは、2030年の目標達成は困難なようです。

地球の気温上昇が止まりません。2020年の時点で、以前と比べて1.09℃上昇していると言われています。地球環境を以前のように回復させることが出来る限界の気温上昇1.5℃まで、あと0.41℃となりました。

国連が製作した映像（恐竜が国連の議場で、「お前たちは自分の活動で自らを滅ぼすつもりなのか！」と叫ぶ）のようにならないように、皆で知恵を出し合いこの困難を克服したいものです。

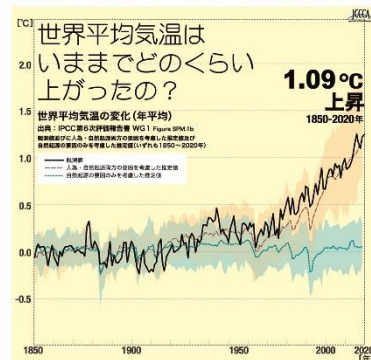
日本の現状

排出量の推移



京都議定書が作られた2005年から15年以上経過していますが、増減を繰り返しているだけで、ほとんど排出量は減っていません。日本は、2030年で2013年比46%減少の目標を掲げていますが、このままの減少量では実現は困難な状況です。

気温の上昇



2020年の時点で、以前と比べて1.09℃上昇していると言われています。地球環境を以前のように回復させることが出来る限界の気温上昇1.5℃まで、あと0.41℃となりました。

活動予定

第21回地球温暖化防止パネル展：

2023年8月24日から8月30日イオンモール広島祇園 2階 イオン店舗前

第20回地球温暖化防止パネル展：

2023年7月1日から7月17日福屋広島駅前店 11階 レストスペース

活動報告

第19回地球温暖化防止パネル展：

2023年6月9日から6月26日LECT 2階 CAINZ 前

第18回地球温暖化防止パネル展：

2023年5月1日から5月31日フジグラン広島 2階 ウッドコート

